

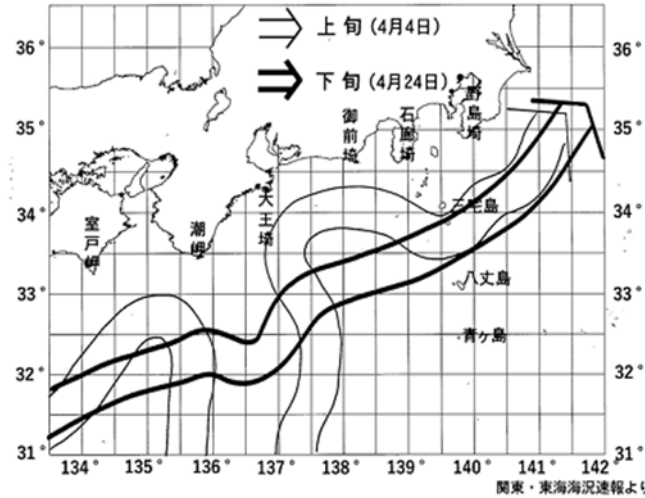
漁海況月報

令和7年4月1日

No. 4 ~4月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.0	15.9	15.7	16.0	16.2	15.9
	1.2	1.2	1.5	1.4	1.8	1.8
中旬	15.9	16.2	16.1	16.6	17.2	16.5
	1.9	1.4	1.6	1.8	2.4	1.9
下旬	16.8	16.7	16.6	17.5	18.5	17.8
	2.3	1.5	1.7	2.3	3.3	3.0
月	15.9	16.3	16.1	16.7	17.3	16.7
	1.8	1.4	1.6	1.8	2.5	2.2

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

4月上旬、中旬はA型で、潮岬沖で大きく離岸した。下旬はN型で、潮岬沖で微少に離岸した後、三宅島付近を通って北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.0°N付近から遠州灘沖34.5°N付近まで北上した後、三宅島付近34.0°Nまで緩やかに南下してから北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘に向けて見られた。

中旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から遠州灘33.0°Nを通り石廊崎沖34.0°NまでS字状に北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘、熊野灘に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で微少に離岸し、大王崎沖33.0°Nから三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、大島東西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東、稲取、下田で「やや高め」、下田、沼津、焼津で「高め」であった。中旬は稲取で「やや高め」、それ以外の地点で「高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田、雲見で「やや高め」、沼津、焼津で「極めて高め」であった。

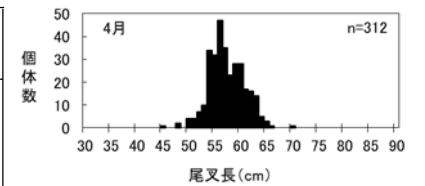
【竿釣カツオ】

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは81.8トンで前年同月(22.3トン)の3.7倍であった。平均単価は661円/kgで前年同月(533円/kg)を上回った。

漁場は33°N、137°Eの大王崎沖などで、4月11日に南駿河湾漁協で実施した市場調査では御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は中(尾叉長56cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R7年4月上旬	28.0	12	2.3	436
中旬	28.8	12	2.4	714
下旬	25.0	7	3.6	852
R7年4月計	81.8	31	2.6	661
R6年4月計	22.3	15	1.5	533
R5年4月計	81.5	24	3.4	576



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は342.9トンで、前年(928.6トン)の37%、平年(431.1トン)の80%であった。また、1か統当たりの水揚量は50.0トン(前年:132.7トン、平年:61.6トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(70.0トン、マアジ、マイワシ、ブリ)、次いで川奈漁場(64.8トン、ブリ、マアジ、サワラ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、ブリは129.0トン、前年比38%、平年比1.4倍で、銘柄ぶり、わらさ主体であった。マアジは88.2トン、前年比66%、平年比79%であった。マイワシは30.3トン、前年比9%、平年比63%であった。さば類は25.6トン、前年比74%、平年比41%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは5.1トン、前年比31%、平年比22%、ゴマサバは17.5トン、前年比1.2倍、平年比38%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は2.9トン、前年比98%、平年比2.3倍であった。サワラは18.9トン、前年比6.8倍、平年比2.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、ブリでは北川漁場が26%(33.7トン)、谷津漁場が24%(30.5トン)、川奈漁場が22%(28.8トン)、マアジでは伊豆山漁場が28%(25.1トン)、古網漁場が23%(20.4トン)、川奈漁場が19%(17.0トン)、マイワシでは伊豆山漁場が68%(20.6トン)、古網漁場が32%(9.7トン)、さば類では北川漁場が31%(8.0トン)、赤沢漁場が17%(4.3トン)、川奈漁場が15%(3.8トン)、サワラでは富戸漁場が47%(8.9トン)、川奈漁場が43%(8.0トン)であった。

*平年：昭和57年~令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	129.0	0.38	1.39	北川、谷津、川奈
マアジ	88.2	0.66	0.79	伊豆山、古網、川奈
マイワシ	30.3	0.09	0.63	伊豆山、古網
さば類	25.6	0.74	0.41	北川、赤沢、川奈
サワラ	18.9	6.79	2.18	富戸、川奈

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は利島に形成された。水揚量はマサバ91トン(前年同月比92%)、ゴマサバ105トン(前年同月比77%)であり、1隻当たり水揚量はマサバ4.8トン(前年同月比1.3倍)、ゴマサバ5.5トン(前年同月比1.2倍)であった。平均単価は、マサバは167円/kgで前月(208円/kg)を下回り、前年同月(169円/kg)並であった。ゴマサバは168円で前月(222円/kg)を大きく下回り、前年同月(198円/kg)を下回った。漁獲物の体長組成は、マサバは30cmに、ゴマサバは34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7年4月上旬	24	32	5	7	3.5	4.5	187	184	利島
中旬	44	36	4	7	6.3	5.2	176	174	利島
下旬	23	37	3	5	4.6	7.5	131	147	利島
R7年4月計	91	105	12	19	4.8	5.5	167	168	利島
R6年4月計	99	137	16	29	3.4	4.7	169	198	大島千波、利島
R5年4月計	102	49	9	11	9.3	4.5	168	212	三本、利島、大島千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

[サクラエビ船曳網]

4月の出漁日数は10日、水揚量は166.8トンであった(前年同月の出漁日数は11日、水揚量は215.7トン)。主漁場は沼津沖～田子の浦沖及び由比沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は38mmにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R7年4月上旬	53.0	4	沼津沖～田子の浦沖
4月中旬	28.7	1	田子の浦沖
4月下旬	85.1	5	田子の浦沖、由比沖
R7年4月計	166.8	10	-
R6年4月計	215.7	11	富士川沖～由比沖
R5年4月計	173.0	8	沼津沖、田子の浦沖、蒲原沖
R4年4月計	18.0	6	沼津沖、田子の浦沖、安倍川沖

[シラス船曳網]

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が425kg、駿河湾(吉田、由比、用宗)が177kgであった。平均水揚量は317kgで前年同月(247kg)の1.3倍、平年同月(過去5か年平均:358kg)の89%であった。また、総水揚量は406トンで前年同月(512トン)の79%、平年同月(688トン)の59%で前年及び平年同月を大きく下回った。平均単価は818円/kgで前年同月(996円/kg)の82%、平年同月(858円/kg)の95%で、前年を下回り、平年並であった。

*平年:過去5か年(令和元年～令和5年)の平均値

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	35.7	10	97	368	485
	舞阪	143.2	10	328	437	591
	福田	91.8	9	198	464	889
	御前崎	35.9	11	99	363	1,090
駿河湾	吉田	78.7	14	332	237	1,132
	用宗	18.5	11	157	118	953
	由比	2.3	7	72	32	1,205
R7年4月計	406.1	72	1,283	317	818	
R6年4月計	511.6	99	2,067	247	996	
R5年4月計	476.7	69	1,775	269	1,305	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、小川港では110トン(前年同月比9%、平年同月比30%)、伊東港では0.004トン(前年同月比0.008%、平年同月比0.01%)、沼津港では876トン(前年同月比65%、平年同月比1.2倍)、静岡港では水揚げがなかった。カタクチイワシは静岡港では0.2トン(前年同月、平年同月水揚げなし)、沼津港では3.3トン(前年同月水揚げなし、平年同月比30%)、小川港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは30トン、カタクチイワシは4.2トンであった。
*平年:過去5か年(令和2年～令和6年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月 3日	習熟航海	(1日間)
4月 8日 ~ 4月 9日	地先定線観測調査	(2日間)
4月 14日 ~ 4月 15日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
4月 17日 ~ 4月 18日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
4月 21日 ~ 4月 23日	カツオ魚群分布調査	(3日間)
4月 24日 ~ 4月 25日	さば類撒き餌・計量魚探調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

